

令和3年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事業報告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で  
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる  
ふれあい、助けあい、支えあいのある  
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、人口減少・少子高齢化等の問題をはじめ、貧困・孤立等制度の狭間で深刻化する多様な福祉課題や自然災害等の発生が重層的に存在しています。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大では、日常生活への不安や地域社会とのつながりを阻む困難さが拡大している状況があります。

こうした状況下、国の施策によって提起された「地域共生社会の実現」をもとに、総社市では、「第2次総社市総合計画」にて、「全国屈指の福祉文化先駆都市の実現」を掲げ、「全国屈指福祉会議」や「復興計画」の策定により、被災者支援とともに、災害に強いまちづくり、経済の活性化と人口増をめざした活気あるまちづくりを通じて様々な先駆的・開拓的な福祉施策に取り組まれています。

そして、本会においても、総社市の施策と連携し、複雑で深刻化する福祉課題に対応するために、①地域支援（地域づくり）、②個別支援（相談）、③在宅支援（在宅生活）の融合による一体的な事業展開をめざして取り組んできました。

特に、住民主体の地域福祉事業を根幹として、課題のある方への包括的な支援体制の構築について重層的支援体制整備準備事業による検討を進めてきました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金（コロナ特例貸付）では、コロナ禍での減収・失業などの生活相談に応じ、生活困窮支援センターやひきこもり支援事業等、既存の個別（相談）支援機能を活かした「一人ひとりに寄り添う支援」に取り組んできました。さらに、地域共生社会の実現に向けた「みんなが主役のまちづくり」を掲げ、ボランティアセンター運営委員会の設立により、お互い様による支え合いのまちづくりを推進する取り組みが始まりました。

このようにすべての住民の豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たす取り組みを進めました。本会はこの状況の中、上記の基本方針に基づき、次の5つの基本活動を基盤に据え、住民主体の福祉コミュニティの実現のため、諸事業を推進して参りました。

### 〈5つの基本活動〉

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の8つの事業を重点に取り組みました。

### ☆重点事業

- (1) 第2次 地域福祉活動計画の策定
- (2) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- (3) 福祉委員活動の推進
- (4) ふれあいサロン活動の推進
- (5) ボランティアセンター事業の推進
- (6) 生活支援体制整備事業の実施
- (7) ひきこもり支援事業の実施
- (8) 重層的支援体制整備準備事業による包括的な支援体制の検討

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声上がるような地域福祉を推進しました。

## 令和3年度に実施した主な事業

### 1. 法人運営事業

#### (1) 理事会・評議員会・監査会の開催

内容	回	日程
理事会	第1回	(書面決議)
	第2回	6月17日(木)
	第3回	10月29日(金)
	第4回	3月9日(水)
評議員会	第1回	(書面決議)
	第2回	11月19日(金)
	第3回	3月25日(金)
監査会	年1回	5月21日(金)
評議員選任・ 解任委員会	年1回	6月17日(木)

#### (2) 役員及び職員の研修

##### ① 役職員研修

今年度は、次年度開催に向けて、地域福祉活動計画の策定との連携を考慮した企画内容の検討を進めた。

##### ② 職員研修

本会職員の専門性の向上、組織力の強化を目的に実施した。

No	日程	テーマ/講師	参加人数
1	6月24日(木)	「家から始める感染予防」 講師：訪問看護ステーションのぞみ 薬師寺 三佳 氏	30人
2	8月5日(木)	「記録の取り方～リスクマネジメントの観点から～」 講師：和田・小田法律事務所 小田 弘昭 氏	35人
3	11月18日(木)	「ファシリテーション～効果的な会議の進め方～」 講師：岡山県社会福祉士会 岡崎 利治 氏	20人
4	3月15日(火)	「育児・介護休業法の改正について」 内容：動画視聴及び改正のポイントの説明	40人

#### (3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団体名	合計
総社地区保護司会	139,000円
遺族連合会	4,772,000円
総社地区更生保護女性会	67,000円
身体障がい者福祉協会	443,000円
山手ゼロリー青葉会	38,000円

団体名	合計
松寿会	164,000円
総社介護者の会	158,000円
あゆみ家族の会	37,000円
保育協議会	28,000円
母子寡婦福祉連合会	193,000円
民生委員児童委員協議会	90,000円
ボランティア連絡協議会	250,000円
清音木工同好会	31,000円
計	6,410,000円

#### (4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,722,900円（昨年度から41,050円減）
- ・加入率 53.8%（前年度 54.8%）

地区名	R3			R2	
	件数	金額	加入率	件数	金額
総社	4,604件	3,669,500円	49.6%	4,647件	3,776,800円
常盤	2,082件	1,987,100円	30.5%	2,108件	1,973,900円
池田	348件	365,000円	66.3%	354件	371,000円
清音	1,701件	1,723,000円	71.6%	1,697件	1,721,000円
三須	880件	896,500円	75.9%	876件	892,500円
服部	617件	646,500円	66.1%	585件	632,000円
阿曾	726件	729,000円	68.9%	672件	676,000円
山手	1,024件	1,023,500円	54.8%	1,037件	1,037,000円
秦	566件	599,000円	76.4%	570件	605,000円
神在	539件	571,000円	71.8%	527件	537,000円
久代	786件	626,300円	60.5%	784件	651,150円
山田	209件	210,000円	74.9%	211件	212,000円
新本	413件	425,500円	72.6%	414件	425,000円
昭和	947件	962,000円	73.2%	949件	9508,500円
事務局	143件	289,000円		148件	296,000円
計	15,585件	14,722,900円	53.8%	15,579件	14,763,950円

#### (5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

- ①社協会員制度（社協会費）の拡大に向けた調査  
（県下社協の取り組み状況を情報収集した。）
- ②社協活動の周知・広報を推進するための調査  
（県下社協のホームページ・Facebook等の活用方法を情報収集した。）

#### (6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

- ①「みんなのちいきふくし」の発行（年3回（1回あたり26,700部）発行）  
【66号】（7月）  
特集：ひきこもりの居場所

地域ニュースfrom地区社協（昭和・神在）  
各課の職員紹介・福祉委員活動・令和3年度事業計画予算 等

【67号】（11月）

特集：令和2年度事業報告、決算・赤い羽根共同募金運動  
生活支援体制整備事業・ボランティアセンターからのお知らせ  
地域ニュースfrom地区社協（総社・新本・阿曾）・ひきこもり支援  
障がい者週間、障がい福祉フォーラム・各種講座案内 等

【68号】（3月）

特集：障がい福祉フォーラム・障がい支援  
地域ニュースfrom地区社協（山手・池田・服部）  
福祉学習・子ども福祉委員・ひきこもりサポーターの取り組み  
総社のあゆみ 行政と社協の協働体制 2021（発行）  
災害ボランティアセンターネットワーク協定・生活支援サポーター 等

② ホームページの更新

- ・研修や制度の案内、各種活動状況を随時更新
- ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>
- ・SNS（Facebook、Twitter等）の活用

（7）民生委員互助共励事業の実施

- ① 死亡弔慰 2件
- ② 傷病見舞 1件
- ③ 退任慰労 1件

（8）職員体制の状況（3月31日現在）

① 課体制	
・事務局長	1人（兼 常務理事）
・事務局次長	1人
・総務企画課	
課長	1人（正規 1人）
総務企画係	6人（正規 3人・嘱託 1人・臨時 2人）
・地域福祉課	
課長	1人（正規 1人）
地域福祉係	9人（正規 7人・嘱託 2人）
・相談支援課	
課長	1人（正規 1人）
障がい支援係	9人（正規 5人・嘱託 1人・臨時 3人）
権利擁護係	11人（正規 7人・臨時 4人）
・在宅福祉課	
課長	1人（正規 1人）
総括	1人（嘱託 1人）
訪問介護係	6人（正規 5人・嘱託 1人）
居宅介護支援係	6人（正規 5人・嘱託 1人）
計画相談係	5人（正規 4人・嘱託 1人）
職員合計	59人（正規 41人・嘱託 9人・臨時 9人）

## ② 資格取得状況

### (国家資格)

・社会福祉士	22人
・精神保健福祉士	5人
・介護福祉士	18人
・保健師	2人
・看護師	3人
・公認心理師	6人

### (認定資格)

・臨床心理士	2人
・介護支援専門員	19人
・相談支援専門員	17人

※ 重複あり延数

## ③ 年齢構成（正規職員のみ）

・20歳代	8人	（事務局	8人）	
・30歳代	10人	（事務局	7人・事業所	3人）
・40歳代	14人	（事務局	10人・事業所	4人）
・50歳代	8人	（事務局	1人・事業所	7人）
・60歳代	1人	（事業所	1人）	

## 2. 地域福祉活動計画

### (1) 第2次地域福祉活動計画の策定

本会で実施する事業の多くは、総社市策定の「第2次総社市総合計画」（平成30年度改訂版）「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」及び全国屈指福祉会議を尊重し推進している。また、総社市が策定予定の「総社市地域福祉計画」との一体的な連携が必要不可欠であるため、今年度は、策定に向けた調査・検討を進めた。

### 3. 地域福祉活動事業

#### (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

- ① 地区社協会長会議の開催【年4回開催】
  - ・第1回地区社協会長会議：4月23日（金）  
報告事項：高校生の社会貢献活動について、敬老会行事について、地区社協助成金について、寄付金配分について、共同募金配分について  
協議事項：今後の見守り活動について、総社市社会福祉協議会 理事・監事・評議員の選出について
  - ・第2回地区社協会長会議：7月20日（火）  
報告事項：令和2年度 総社市社会福祉協議会事業報告について、令和2年度 各地区社協の取り組みについて、子ども食堂助成要領について  
協議事項：ふれあいサロンについて、令和3年度 赤い羽根共同募金事業について（ポスター作品コンクール、赤い羽根共同募金運動推進会議）
  - ・第3回地区社協会長会議：12月10日（金）  
報告事項：赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて  
協議事項：ふれあいサロン活動助成要領（案）について、見守り活動について、敬老会事業の検討について
  - ・第4回地区社協会長会議：3月22日（火）  
報告事項：令和4年度 総社市社会福祉協議会事業計画（案）について、令和3年度赤い羽根共同募金の実績報告について、令和4年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について  
協議事項：地区社協と全世代型小地域ケア会議の連携について
- ② 福祉のまちづくり座談会の開催  
地区社協における今後の活動（見守り活動等）と全世代型小地域ケア会議の構築を見据え、双方が連携して、座談会を開催することを検討（令和4年度中に実施）
- ③ 小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携  
様々な地域課題を協議している小地域ケア会議及び圏域ケア会議との関係を密にし、地区社協として対応の可能性が見いだせる課題については、地区社協で取組みを協議する。
- ④ 地区担当制による地区社協活動の運営補助・相談業務  
担当地区のサロンや行事、様々な場を訪問し、地域との関係構築を図った。
- ⑤ 地区社協だよりの発行  
地域住民に地区社協の事業報告や社協会費の使途、決算・監査報告などを目的に地区社協毎に年1～2回程度発行した。

#### (2) 民生委員・児童委員活動との連携

- 地域福祉の増進を目的（民生委員法第1条）として、地域で活躍する民生委員・児童委員との連携を図り、地域福祉を推進した。
- ・市民生委員児童委員協議会定例会への参加
  - ・地区民生委員児童委員協議会定例会への参加
  - ・福祉委員との合同研修の実施

### (3) 福祉委員活動の推進

- ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進  
592人（48世帯に1人配置）

- ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援

- ・総社市福祉委員協議会

総会 1回開催：7月8日(木)

役員会 4回開催：6月22日(火)・10月13日(水)・11月11日(木)・3月24日(木)

#### 役員研修会

日時：2月15日（火）13：30～15：00

場所：総社市図書館

内容：地域の見守り・支え合いについて（参加者：30人）

- ③ 研修会（民生委員・児童委員合同・初任者等）の実施

【民生委員・児童委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
池田	10月11日（月）	講演「見守り活動について」
常盤	12月22日（水）	講演「生活困窮者支援は社会全体の課題について」
清音		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
三須	2月23日（水）	講演「見守り活動の必要性と方法について」
服部	10月30日（土）	講演「認知症サポーター養成講座」
阿曾	1月12日（水）	講演「見守り活動について」
山手	12月14日（火）	講演「見守り活動について」
秦	3月17日（木）	講演「認知症サポーター養成講座」
神在	11月17日（水）	講演「住民主体の移動支援について」
久代		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
山田		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
新本	3月13日（日）	講演「総社市社会福祉協議会の取り組みについて」 「総社市西部地域包括支援センターについて」
昭和	2月24日（木）	講演「精神障がいがある方へ対しての見守りについて」

- ④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成。

- ・第19号（11月）・第20号（3月）
- ・編集委員会の開催

- ⑤ 子ども福祉委員活動の推進

子どもたちが地域の担い手として、地域福祉活動を実践し、住んでいる地域や福祉について理解を深めるため、子ども福祉委員を任命。また、子どもたち自身の学びの

場（福祉学習）や将来の担い手育成につなげる。

- ・昭和地区 小学生23人・中学生10人 合計33人

#### （４）ふれあいサロン事業の推進

##### ① ふれあいサロン活動助成金の交付

- ・申請 206か所
- ・助成 172か所（総額3,020,000円）

##### ② ふれあいサロンへの立ち上げ相談、運営支援

	設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	199か所	1,716回	18,293人
障がい者	2か所	15回	53人
子育て	5か所	40回	398人
合計	206か所	1,771回	18,744人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへ職員の訪問・取材・相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

##### ③ 各ふれあいサロンへ訪問

- ・ふれあいサロン活動の状況把握、相談支援、情報交換や情報提供、備品の説明

##### ④ ふれあいサロン交流会の開催

- ・内容：ふれあいサロン育成事業について、コロナ禍におけるふれあいサロン活動について
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため6つの地域に分けて実施

#### （５）ボランティアセンター事業の実施

##### ① 運営委員会及び部会の開催

ボランティアセンター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に運営委員会を開催した。また、平常時のボランティア活動と災害時のボランティア活動に分け、部会を設置し、活動内容を協議した。

- ・運営委員会

開催日	内容
第1回 6月21日（月）	・事業計画について・部会の設置について
第2回 3月15日（火）	・チラシ作成について・事業計画について

- ・ボランティア推進部会

開催日	内容
第1回 7月30日（金）	・今後の取り組みについて ・SNSを活用した周知について ・申込書等の作成について
第2回 1月21日（金）	・今後の取り組みについて

・災害ボランティア部会

開催日	内 容
第1回 8月16日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の取り組みについて</li> <li>・災害時における連携について</li> </ul>
12月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人 総社青年会議所と災害ボランティアセンターネットワーク協定を締結</li> </ul>
第2回 2月18日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の取り組みについて</li> </ul>

② ボランティア（グループ、個人）活動の支援

- ・ボランティア登録（70グループ（2,137人）、個人4人）

③ ボランティア活動のコーディネート

- ・実相談件数：31件
- ・延相談件数：220件

④ ボランティア養成講座の開催

対象者：市内在住の方、市内でボランティア活動に取り組みたい方

参加者：42人

内 容：基礎講座（全2回）、専門講座、子ども食堂ボランティア講座

⑤ 「夏のボランティア体験事業」の実施

- ・参加者：328人（中学生以上）
- ・25事業所で活動・事前及び事後研修会の実施

⑥ ジュニアボランティア養成講座の開催（全3回）

- ・参加者：9人

講 師：岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 教授 岩満 賢次 氏

⑦ ボランティア連絡協議会の支援

- ・13団体、168人
- ・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施

**（6）福祉教育の推進**

① 社会福祉学習支援事業の実施

- ・実施校数：小学校10校、中学校1校

実 施 校	内 容
総社中央小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験</li> </ul>
総社小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験</li> </ul>
清音小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験</li> </ul>
山手小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業</li> <li>・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験</li> <li>・認知症サポーター養成講座・福祉学習発表会</li> </ul>

実施校	内 容
阿曾小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業</li> <li>・高齢者疑似体験・車いす、白杖体験</li> <li>・盲導犬ユーザーによる授業・車いすユーザーによる授業</li> </ul>
総社東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> </ul>
秦小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総社市総合福祉センター見学・高齢者疑似体験</li> </ul>
総社西小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・高齢者疑似体験</li> </ul>
新本小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いすユーザーによる授業</li> <li>・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験</li> </ul>
昭和小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験</li> <li>・高齢者疑似体験・盲導犬ユーザーによる授業・</li> </ul>
総社中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の授業・車いす、白杖体験</li> <li>・車いすユーザーによる授業</li> </ul>

## ② 福祉学習メニュー表の作成

実践可能な講座を取りまとめたメニュー表を作成し、多様な福祉学習の実施につながるよう努めた。

## ③ 県立高校社会貢献活動との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼なし

## ④ 令和3年度福祉教育セミナーの開催

目 的：「福祉」「教育」「地域」の三者が「福祉教育」の目的や意義を理解し、より良い福祉教育の実践を模索し、福祉教育の学びや気づきを今後の福祉教育・地域福祉活動につなげる。

日 時：3月7日（月）14：00～15：30

対 象：小学校、中学校、高校、大学の教職員、福祉教育関係者、ボランティア、地区社協関係者など福祉教育に関心のある方

基調講演：「盲導犬ユーザーの暮らしについて」  
盲導犬ユーザー 末木 智恵 氏

参加者：12人

## (7) 生活福祉資金等の貸付

### ① 生活福祉資金特例貸付の貸付

- ・延相談件数 599件
- ・貸付件数 172件（緊急小口資金特例貸付）  
347件（総合支援資金貸付）

### ② 緊急援護資金の貸付

	R3	R2	R1	H30	H29
相談件数	34件	54件	74件	115件	221件
貸付件数	24件	39件	35件	34件	32件
うち生活保 護世帯	6件	10件	18件	19件	17件
	25%	25.6%	51.4%	55.9%	53.1%
償還率	66.7%	82.1%	87.5%	94.1%	81.3%

## (8) 生活支援体制整備事業の推進（協議体の開催）

### ① 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係機関との ①情報共有 ②連携・協働 ③資源開発を推進するために設置。

【第1回】8月16日（月）

→各検討部会の進捗状況の共有・今後の協議内容について・新見市との情報交換

【第2回】3月14日（月）

→各検討部会の進捗状況の共有・令和4年度の取り組みについて  
生活支援サポーター養成講座報告

### ② 生活支援サービス検討委員会検討部会等の開催（第1層協議体専門部会）

- ・「第1回 生活の支え合い活動検討部会」 【1月20日（木）】
- ・「第2回 生活の支え合い活動検討部会」 【2月22日（火）】
- ・「第1回 見守り（給食・買い物）活動検討部会」 【4月27日（火）】
- ・「第1回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」 【7月28日（水）】
- ・「第2回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」 【11月2日（火）】
- ・「第1回 移動・外出支援検討部会」 【11月16日（火）】
- ・「第2回 移動・外出支援検討部会」 【1月18日（火）】

### ③ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）

- ・多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け  
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）

【第1回】

新型コロナウイルス感染防止のため、書面開催

【第2回】

中央部北（総社・池田）	10月7日（木）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	10月4日（月）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	10月1日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	10月7日（木）	久代分館
北部（昭和）	10月6日（水）	昭和セミナーハウス

【第3回】

中央部北（総社・池田）	2月3日（木）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	1月31日（月）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月28日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	2月24日（木）	久代分館
北部（昭和）	2月1日（火）	昭和公民館

## (9) 生活支援に関する取り組み

### ① 「かいもの市」の開催（買い物・給食サービス検討部会）

移動販売や配達弁当等のサービスを知ってもらい、買い物に困っている方等、必要な方につなげる取り組み。地域住民への買い物に関するアンケート調査も併せて行い、ニーズの把握からサービス向上や新たな取り組みへの発展をめざす。

日程	対象	会場
11月14日（日）	総社北小学校区にお住まいの方	総社北小学校



日 程	内 容
第 5 回 12月3日(金) 12:40~14:10	講義・演習 ①「お互い様のココロ ～地域で豊かに暮らし続けるために」 岡山県立大学 佐藤ゆかり 氏
第 6 回 12月17日(金) 12:40~14:10	講義・演習 ②「私たちにできることを考えよう」 岡山県立大学 佐藤ゆかり 氏

- ③ 生活支援サポーター連絡会 各種会議の開催  
生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。  
また、新たな活動の創出に向けた話し合いの場も開催した。

会議名	日 程	内 容
役員会	第 1 回 7月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会について</li> <li>・にこにこサポート事業の現状について</li> </ul>
	第 2 回 11月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援・介護予防サポーター養成講座について</li> <li>・にこサポボーイズの今後の活動について</li> <li>・にこサポフォローアップ研修について</li> <li>・にこにこサポート事業活動報告書の様式について</li> </ul>
総 会	6月11日(金) ※書面決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 事業報告・決算報告</li> <li>・令和3年度 役員名簿(案)について</li> <li>・令和3年度 事業計画(案)及び事業予算(案)について</li> </ul>
にこサポ ボーイズ 連絡会	第 1 回 10月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動実績について</li> <li>・今後の取り組みについて</li> </ul>
	第 2 回 1月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこサポ連絡会役員会での協議について</li> <li>・今後の取り組みについて</li> </ul>

#### 4. 子育て支援事業

##### (1) 子育てサロン事業の支援

- ・子育てサロンへの相談支援（5か所）
- ・活動助成金の交付・備品の貸し出し

##### (2) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- ・地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- ・多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
池田	2月14日（月）	37人	子育て交流	（対象者）幼稚園児、小学生 （内容） コロナ禍の為、図書カード・お菓子を配布することで子どもたちとの交流を図る。
服部	1月20日（木）	56人	服部幼稚園児 県立大学のお兄さん、姉さんと遊ぼう	（対象者）幼稚園児 （内容） 折り紙、お菓子釣り、バルーンアート等を実施し、園児と交流を図る。
山手	10月14日（木）	69人	やまてちびっこまつり	（対象者）就園前の乳幼児とその家族 （内容） 工作、ステージショー等を行い、山手地区の親子と地域住民が交流を図る。
久代	10月28日（木）	38人	久代地区民児協と久代幼稚園とのふれあい交流会	（対象者）幼稚園児、地区社協、民生委員・児童委員 （内容） 絵本読み聞かせ、ターゲットゲーム、輪投げを行い園児と交流を図る。
新本	5月5日（水）	147人	新本みんなのマルシェ	（対象者）新本在住の方 （内容） 児童ゲームコーナーを設け、三世代交流を図る。

##### (3) 子ども食堂開設・運営支援事業（生活困窮支援センターと連携）

子ども食堂の開設や興味のある方を対象にネットワークづくりを行い、子ども食堂開設に向けての支援を行った。

- ① 子ども食堂連絡会 2回開催：8月24日（火）・2月4日（金）
- ② 子ども食堂開設支援 7か所（新規2か所）
- ③ 子ども食堂へ助成金の交付

## 5. 高齢者福祉事業

### (1) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全地区ともに式典は中止とし、記念品等を配布した。

対象者：6,178人（80歳以上）

地区	対象者	地区	対象者
総社	1,696人	山手	414人
常盤	785人	秦	224人
池田	165人	神在	186人
清音	579人	久代	346人
三須	371人	山田	99人
服部	206人	新本	191人
阿曾	336人	昭和	580人

### (2) 高齢者等団体(老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会)の支援

#### ① いきいきシニア総社（総社市老人クラブ連合会）

- ・56クラブ 3,475人
- ・主な事業：総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会、女性委員会主催行事

#### ② 松寿会（ひとり暮らし高齢者の会）

- ・対象：市内在住で65歳以上の一人暮らしの方
- ・会員：96人
- ・内容：総会、交流会、移動研修、役員会

#### ③ 総社介護者の会

- ・対象：身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
- ・会員：18人
- ・内容：総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

## 6. 日常生活自立支援事業の実施

### ① 日常生活自立支援事業の実施

- ・令和3年度 利用者数：20人

### ② 生活支援員による援助の実施

- ・令和3年度 生活支援員登録者数：24人（内16人が活動中）

## 7. 法人後見事業の実施

### ① 法人後見事業の実施

- ・受任件数 14件（後見7件、保佐5件、補助2件）

### ② 市民後見人による後見業務の実施

- ・市民後見人登録者 18人  
（うち 13人が活動中であり、複数後見7人、法人後見支援員6人）

## 8. 社会福祉法人との連携事業

平成29年7月1日、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（愛称：ふくしネットそうじゃ）が設立。総社市内に拠点のある社会福祉法人（20法人）に呼びかけ、19法人が加入し、活動を実施した。

スキーム福祉の会	金曜会	雪舟福祉会
やさい畑クムレ	超寿会	吉備のくに福祉会
光優会	あのね保育園	新生寿会
真美会	経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園	総社市社会福祉事業団
総社福祉会	ももその学園	総社市社会福祉協議会
千寿福祉会		

### ① 総会の開催（書面開催）

【総会】（参加法人：19法人）

- ・令和2年度 事業報告及び決算報告 ・令和3年度 事業計画及び予算計画など

### ② 役員会の開催

- ・1回開催：5月7日（金）

### ③ 部会の開催

[事業部会] 3回開催：4月27日（火）・8月24日（火）・11月4日（木）

[調査・研修部会] 1回開催：1月19日（水）

### ④ 暮らし応援事業の実施（フードリンクプロジェクト）

おかやまコープ総社東、総社市生活困窮支援センターとの協働で、フードドライブ（食料品の寄付を募り、いただいたものを生活困窮支援に役立てる活動）を実施した。

また、新たに、各法人にフードパントリーを設置し、食糧支援を通じて、生活に困っている方の発見や相談のきっかけづくりに活用した。

- ・フードドライブの実施

**第1回** 10月23日（土）10：00～13：00

参加者：12人（社会福祉法人4人、おかやまコープ4人、事務局4人）

協力者：25人 協力法人：10法人 協力団体：3団体

総数：1,378個

**第2回** 2月19日（土）10：00～13：00

参加者：13人（社会福祉法人4名、おかやまコープ4名、事務局5人）

協力者：15人 協力法人：9法人 協力団体：1団体

総数：1,279個

- ・フードパントリーの実施 10法人

⑤ しごと応援事業の実施

ひきこもりの方等を対象に、ボランティアや就労を体験できる機会として福祉施設等で受け入れ、社会参加や自立生活に向けた支援を行う活動。

⑥ 安心すまい応援事業の実施

DV被害者の一時避難先や、生活困窮者の一時的な生活の場（宿泊等）として受け入れる活動。

実績：吉備路の会（吉備路学園）2人

⑦ 子育て応援事業の実施

子育てに課題や悩みを抱える保護者を対象に、育児への関わり方のヒントを提供し、共に考える機会を提供する活動（ペアレントサポート）。

実績：社会福祉事業団（障がい児通園施設 はばたき園）

⑧ 新たな取り組み応援事業の実施

市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

## 9. 障がい者福祉事業

### (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

#### ① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

基幹相談支援センターは、地域での障がい者相談支援の中核的な役割を担う機関

（相談支援を利用している障がい者等） (人)

対象者	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	142	6	25	1	53	0	2	65
障がい者	247	22	63	78	47	0	2	69
計	389	28	88	79	100	0	4	134

（相談支援方法）合計（実）5,453件、（延）7,432件 (件)

		訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
相談件数 (実数)		411	622	94	1,157	414	154	2,592	9
内 訳 ※ 重 複 あ り	身体	23	17	3	94	0	4	133	0
	知的	79	187	32	242	266	65	725	3
	精神	90	265	43	658	57	45	876	2
	発達	168	376	50	421	291	88	1,478	7
	高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病	0	1	0	4	0	1	12	0
	その他	141	64	2	62	67	10	280	0
計		501	910	130	1,481	681	213	3,504	12

#### ② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしている。

### (2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施

#### ① 発達障がい者支援ネットワークの構築

発達障がい者支援体制整備事業は、総社市における発達障がい者（児）について、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障がい者（児）の福祉の向上を図ることを目的としている。

総社市では、発達障がい支援コーディネーターを基幹相談支援センターに配置し、障がいに関するワンストップの相談窓口を設置しています。基幹相談支援センターは総社市地域自立支援協議会事務局を担っており、相談者個人の問題とするのではなく、広く総社市の地域課題として、行政をはじめとする関係機関と協議していく体制を構築している。障がい者千五百人雇用センターとの連携を含め、学校卒業後も見据えた、生涯にわたり一貫した支援を提供する体制整備を推進する。

#### ・相談支援実数267人（延3,987件）

- ・児童 135人（うち未診断・未確認 81人、知的障がいを伴う32人）
- ・成人 132人（うち未診断・未確認 91人、知的障がいを伴う30人）

(相談支援方法) 合計(延) 3,987 件 (件)

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
329	533	55	602	360	120	1,980	8

・関係者の研修、その他の取組等

(主催の講座・研修等)

- ・発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」(全5回)

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場、録画視聴の選択形式で開催

講師:重松 孝治 氏(川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科 講師)

申込者:140 人、延べ参加者:来場 計 60 人

録画視聴回数 :計 1,245 回

(コーディネーター派遣等)

- ・倉敷まきび支援学校 総社地区 生活・働くを知る会
- ・倉敷まきび支援学校出張相談会
- ・学童対象の発達障がいに関する講座
- ・中高連携の研修会
- ・義務教育終了後の四者面談
- ・学校教育課 進路説明会
- ・総社市全国屈指福祉会議 発達障がい児支援部会
- ・総社市4歳児発達支援事業の相談支援チームとして、市内幼稚園、保育所(園)等を訪問
- ・総社市4歳児発達支援事業WGに参加
- ・総社市教育支援委員会委員
- ・総社市教育支援委員会専門家チームとして、市内小中学校、幼稚園、保育所(園)を訪問
- ・総社市内の放課後児童クラブ(1か所)を定期的に訪問し、助言等を行っている。
- ・総社市内の日中一時支援事業所(1か所)を定期的に訪問し、助言等を行っている。
- ・総社市内の高校に定期的に訪問
- ・総社 PEC(要観察児教室)に参加
- ・総社市の1歳6か月健診におけるM-CHAT導入のための協議に参加

(その他)

- ・世界自閉症啓発デー(発達障害啓発週間)展示会 セントラルロビーアート展
- ・専門職派遣事業の開始
- ・総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催(年3回)
- ・総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催(年1回)

② 発達障がい支援者養成講座の開催

自閉症等の発達障がい児（者）の保護者及びその支援に関わる人たちに、専門的知識を提供する機会を設け、発達障がい児（者）の支援に関する専門性を高めることを目的とし開催した。

【発達障がい支援者養成講座】「みんなで学ぼう！発達障がい」

5回開催：10月26日（火）、12月9日（木）、1月18日（火）、2月17日（木）、3月8日（火）

場 所：総社市総合福祉センター、オンライン会場（Zoom）、録画視聴

対 象：総社市在住の発達障がい児（者）の保護者及び支援者等

講 師：川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科 講師 重松孝治 氏

内 容：第1回 発達障がいの特性  
 第2回 個々の子ども理解に応じたアプローチ  
 第3回 子どもに伝わる伝え方  
 第4回 子どもからの発信を育てる  
 第5回 ライフステージに応じた支援に向けて

申込者数：140人

参加者数：来場 : 延 60人

録画視聴回数 : 延1,265回

③ 自閉症支援トレーニングセミナーの開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの実施

自閉症の理解・啓発の一環として、当事者の方の作品を展示した。

日 時：4月2日（金）～4月9日（金）

場 所：総社市役所セントラルロビー

(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営

(就労者数：1,199人 ※本センター支援実績含む)

① 障がい者就労支援の推進

障がい者千五百人雇用センターでは、専門職員を配置（千五百人雇用ワーカー3人、ハローワーク職員1人）し、働きたい障がい者と、雇用したい企業との間に入り、きめ細やかな支援を行っている。就職後も職場を訪問し、アフターケアを行っている。

相談件数（延）：6,381件

就職件数：79件・職場実習：91件

・障がい種別 合計（延）7,007件 (件)

身 体	知 的	精 神	発 達	高次脳	難 病	その他
745	1,506	3,306	1,128	113	124	85

・就労状況 合計（延）6,381件 (件)

在職中	求職中
3,289	3,092

・相談方法（延） 合計（延）6,381件 (件)

訪問	来所	電話	e-mail	その他
664	1,005	4,169	324	219

- ・障がい者千五百人雇用センター登録者を対象に状況確認のアンケートを実施  
回収数：217名/600名 回収率：36.2%  
それぞれの状況に応じて相談対応を行った。
- ・障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会【1月28日(金)】への協力  
面接会場内に千五百人雇用センターの相談ブースを設置

② 障がい者就労支援セミナー2021 in そうじゃの開催

地域の企業等を対象に、精神障がい者への理解を深め、安定して生き生きと働き続けることができる場を増やすことを目的として開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場定員を20人とし、併せてオンライン配信を行った。

日 時：11月18日（木）13:30～15:30

場 所：総社市総合福祉センター3階 大会議室・Zoom配信・録画視聴

内 容：講 演：「発達障がいのある方への職場でのサポート」

講 師：おかやま発達障害者支援センター 発達支援課長 池内 豊 氏

情報提供：「障がい者を雇い入れた場合などの助成」

報 告 者：倉敷中央公共職業安定所 統括 小見山 卓雄 氏

情報提供：「総社市障がい者千五百人雇用センターの取り組み」

報 告 者：総社市障がい者千五百人雇用センター

実践紹介：「就労継続支援事業所から一般就労への移行」

福祉的就労：グリーンファーム、のぞみ

一般就労：カップ・クリエイト株式会社、

シノプフーズ株式会社

参加者数：延べ144人（会場/27人/オンライン30人/録画視聴87人）

③ 工賃向上研修会の開催

先進事例を学び意見交換をとおして、就労継続支援事業所のサービスの質の向上および工賃向上を目的に開催した。

日 時：3月29日（火）13:30～15:00

場 所：総社市総合福祉センター2階技能習得室、オンライン、録画視聴

内 容：

【実践報告】「てのひらまるしえの取り組みについて」

報告者：総社市地域自立支援協議会 日中活動連絡会

代表 高杉 裕美 氏

【研修】「“パッケージデザイン”で魅力をアップ！想いが伝わる商品づくり」

講 師：就労継続支援A型事業所アグリエカロー・虹

賃金工場達成指導員 山口 将弘 氏

参加者数：延べ83人（会場10人/オンライン6人/録画視聴67人）

#### (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営

##### ① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）

地域活動支援センター「ゆうゆう」は、総社市在住で18歳以上の障がいのある方を対象としている。障がいのある方の地域生活を支援するために専任の職員を配置し、日中活動の場の提供、地域交流等の各事業を実施している。障がいのある方・ご家族にとって住みやすいまちづくりをめざし、当事者主体の活動拠点として事業を行っている。

- ・日中活動利用者 延人数 913人、登録者数 70人
- ・日中活動支援 利用者が自主的に行事を考え、活動に参加できるように支援をする。（創作活動、料理教室等）
- ・地域交流事業（行事の企画実施）
- ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

##### ② 障がい者ふれあいボランティア講座の開催【1月25日(火)、3月8日(火)】

1. 「ボランティア活動に役立つ知識 ～市内のボランティアについて～」  
総社市社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 石原 寛大
2. 「障がいのある方と関わるために  
～『こころの病気』について理解を深めよう～」  
こころ診療所 ソーシャルワーカー 木村 仁美 氏

#### (5) 地域自立支援協議会の運営

##### ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営

総社市では、平成19年3月から「総社市地域自立支援協議会」が設置されており、事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っている。

障がい者福祉の関係機関の情報共有及び連携を図るとともに、障がい者福祉に関する支援システムの構築、生活に必要な社会資源の創出・改善などを協議することで、障がいのある方が総社市で安心して暮らせることを目指して開催した。

当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など70以上の団体・機関から構成されている。

##### (地域自立支援協議会開催状況)

- ・全体会議 1回開催【9月9日（木）】※オンライン配信（Zoom）
- ・実務担当者会議 1回開催【3月18日（金）】※ 委員向けの研修会として開催
- ・運営会議 3回開催【7月16日（金）、11月22日（月）、1月21日（金）】
- ・専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	1回
2	地域生活支援拠点等検討プロジェクトチーム	5回
3	医療的ケア児支援体制検討プロジェクトチーム	6回
4	相談支援事業所連絡会	7回
5	こどもに寄り添う連絡会	3回
6	日中活動事業所連絡会	3回
7	日中一時支援事業所連絡会	5回
8	療育支援事業所連絡会	1回
9	ハートフルそうじゃ実行委員会	4回

- ・障がい福祉フォーラムの開催【12月4日(土)】

(地域自立支援協議会研修会：実務担当者会議)

- ・4月2日(金)～9日(土) 自閉症啓発デー セントラルロビーアート展
- ・7月10日(土) 日中活動事業所説明会
- ・8月18日(水) 高梁市自立支援協議会にて取組発表(日中活動事業所連絡会)
- ・10月4日(月) HACCP に沿った衛生管理研修会(日中活動事業所連絡会)
- ・11月4日(木) 医療的ケア児研修会(医療的ケア児支援体制検討PT)
- ・11月8日(月) 事業所見学(医療的ケア児支援体制検討PT)
- ・2月2日(火)～3月6日(土) そうじゃてのひらマルシェフェア
- ・3月18日(金) 研修会(実務担当者会議)  
「親なきあとのお金の話」 講師：梶野 雅章 氏
- ・3月29日(火) 工賃向上研修会にて取組み発表(日中活動事業所連絡会)
- ・備中圏域自立支援協議会連絡会 1回開催(8月2日(月))
- ・岡山県自立支援協議会事務局連絡会 1回開催(10月21日(木))

## (6) 障がい福祉フォーラムの開催

障がい者福祉をより重層的・包括的に実践していくためには、当事者、家族、住民、ボランティア、医療・福祉関係者、行政等が更に連携して支援システムづくりを推進する必要がある。そこで、本フォーラムを契機として、障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、障がい者福祉フォーラムを「障がい者週間」にあわせて開催した。

日 時：12月4日(土) 12:00～15:30

場 所：総社市総合福祉センター、総社市保健センター、屋外駐車場

内 容：①講演会：「岡山県ゆかりの障害者スポーツ選手  
パラリンピアンに聞いてみよう」

講 師：生馬 知季 選手(パラ陸上)

井上 全悠 選手(パラ卓球)

②福祉事業所等による販売会“そうじゃてのひらマルシェ”

③事業所等紹介パネル展示(12月3日(金)～12月10日(金))

## (7) 障がい者(児)団体の支援

障がい者(児)団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言している。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担う等、団体活動のサポートを行った。

- ・総社市身体障害者福祉協会
- ・総社市インクルージョン推進事業協議会

## 10. 権利擁護事業の設置運営

### (1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営

【令和3年度相談実績】

・相談内容別相談対応数 (実) 311件、(延) 3,569件 (件)

	高齢者 虐待	障がい者 虐待	児童 虐待	DV	養護者 支援	成年 後見	日援 事業	入居 等	犯罪 被害	法律	日常 生活	その他
実数	27	2	5	10	29	80	3	8	0	37	109	1
延数	421	29	9	118	367	959	39	252	0	72	1,302	1

・犯罪被害者支援講演会の開催（12月1日（水））

講演：「地域で支える被害者支援～警察と大学生の連携による実践から～」

講師：岡山県警察本部 警務部 県民広報課 犯罪被害者支援室  
犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」

対象：一般市民

参加者：会場30人、オンライン7人、録画視聴9人

### (2) 権利擁護センター運営委員会の開催

#### ① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

開催日	内容
第1回 4月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度権利擁護センター実績報告について</li> <li>市民後見人登録選考委員会からの報告及び総社市への答申について</li> <li>令和3年度権利擁護センター事業計画（案）について</li> <li>社会福祉法人総社市社会福祉協議会総社市権利擁護センター設置規程改正の提案について</li> </ul>
第2回 9月15日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>総社市権利擁護センター中間報告</li> <li>中核機関体制整備ワーキンググループからの報告</li> <li>障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループからの報告</li> <li>総社市市民後見人養成研修受講者選考について</li> <li>総社市市民後見人養成研修の内容について</li> <li>権利擁護推進講座の開催について</li> <li>総社市市民後見人定例研修会アドバイザー制度について</li> <li>社会福祉法人総社市社会福祉協議会総社市権利擁護センター設置規程改正の再提案について</li> </ul>
第3回 3月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核機関体制整備ワーキンググループからの報告</li> <li>障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループからの報告</li> <li>中核機関体制整備について</li> <li>養護者による障がい者虐待への対応（フロー図）について</li> <li>市民後見人登録審査会の委員選出について</li> <li>令和4年度 総社市権利擁護センター事業計画（案）について</li> </ul>

## ② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討を実施した。

開催日	内容
第80回 4月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討(1件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第81回 7月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核機関の周知について</li> <li>社協法人後見における市民後見人との複数後見について(法人後見運営委員会)</li> <li>受任者調整会議(1件)</li> <li>総社市市民後見人養成研修受講者面接の委員選出について</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第82回(臨時) 8月4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討のルールについて確認・共有</li> <li>事例検討(2件)</li> <li>受任者調整会議(3件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第83回 9月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討ルールの確認</li> <li>事例検討(1件)</li> <li>受任者調整会議(2件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第84回 11月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受任者調整会議(3件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第85回 12月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受任者調整会議(2件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第86回(臨時) 2月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討(2件)</li> <li>受任者調整会議(2件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>
第87回(臨時) 3月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討(2件)</li> <li>受任者調整会議(2件)</li> </ul>
第88回 3月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討(1件)</li> <li>受任者調整会議(1件)</li> <li>検討事例状況報告</li> </ul>

## ③ ワーキンググループの開催

権利擁護課題の解決に向けて、ワーキンググループを設置し、調査、研究を行った。

### ・中核機関体制整備ワーキンググループ

開催日	内容
第1回8月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核機関の体制整備(現状と課題)について</li> </ul>
第2回2月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核機関の体制整備(広報機能・相談機能)、受任者調整の仕組みについて</li> </ul>

### ・障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ(新規)

開催日	内容
第1回8月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者虐待対応の現状と課題について</li> </ul>
第2回12月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待対応フロー図(総社版)の初動期段階について</li> </ul>
第3回2月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待対応フロー図(総社版)の対応期段階について</li> </ul>

### (3) 成年後見制度に関する啓発事業の実施

成年後見制度や市民後見人の活動の理解と周知・啓発を目的に、成年後見セミナー及び市民後見人養成研修の説明会を開催。また、個別の相談に対応するため成年後見制度無料相談会を実施した。

#### ① 令和3年度成年後見セミナー及び市民後見人養成研修説明会

内 容：講演「これで安心！みんなの成年後見！」

講師：かとう社会福祉士事務所 代表者 加藤 貴之 氏

実施日：8月31日（火）

受講者：会場20人、オンライン7人、録画視聴6人

#### ② 成年後見制度無料相談

成年後見制度に関する相談に専門職（弁護士・社会福祉士）が対応した。

実 施 日：毎月第2木曜日 14：00～16：00（計12回）

相談件数：15件

### (4) 市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催した。

今年度は3人が次の研修を受講し修了した。

#### ① 岡山県市民後見人養成講座

10月24日（日）～12月12日（日）の7日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

#### ② 総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：1月5日（水）～2月25日（金）の4日間

現場実習（施設見学・後見業務同行）

### (5) 市民後見人フォローアップ事業の実施

#### ① 市民後見人定例研修会

市民後見人登録者18人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に奇数月第3水曜日に開催した。

開催日	内容
第1回 7月21日（水）	・本年度の研修会の内容について
第2回 9月22日（水）	・介護保険制度における介護支援専門員の役割～市民後見人との連携に向けて～
第3回 11月17日（水）	・権利擁護フォーラム（岡山県社協主催）にオンライン参加
第4回 1月19日（水）	・市民後見人活動報告
第5回 3月16日（水）	・他市市民後見人との交流

## ② ネットワーク連絡会（市民後見人自主運営）

市民後見人同士の情報交換、ネットワーク構築等の自主活動を行った。

- ・市民後見人活動の意見交換
- ・高齢者・障がい者なんでも相談会主催市民後見人交流会の参加

## ③ 受任後のフォローアップ

日頃の後見活動における相談支援を個別に実施し、市民後見人定例研修会においては、市民後見人同士による支援の課題や意見交換を実施した。

## ④ 総社市市民後見人養成研修会への参加

市民後見人養成研修（市独自研修）に現任の市民後見人も受講。知識や技術のフォローアップの機会を提供した。

## （6）市長申立て事務の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書等を権利擁護センターが作成した。

令和3年度実績：10件

## （7）ミニなんでも相談会の開催

市民が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉等についての相談会を開催し、権利擁護センター運営委員である、弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職が相談員を務めた。また、この相談会を通じて支援につながるきっかけ作りとなった。

- ・第1回：11月10日（水）相談者：9人
- ・第2回：2月9日（水）相談者：9人

## （8）弁護士による専門職向け法律相談の実施

### ① 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター弁護士が、相談事例における法律的な支援について必要な助言等を行った。

- ・相談者数：15人
- ・相談事例
  - 近隣トラブルへの対応について
  - 未成年の親権者が行方不明となったため、親権でない親族が今後手続きをする方法
  - 戸建てを賃貸している貸主からの相談対応について

### ② 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身につけることを目的に開催した。

講師：総社市権利擁護センター 吉野夏己弁護士

開催日	内容	参加者
6月24日(木)	成年後見制度について	12人
7月29日(木)	相続について①～死亡時の手続き、遺産分割～	29人
8月26日(木)	相続について②～遺留分減殺請求～	20人
9月30日(木)	個人情報について	21人
10月28日(木)	近隣トラブルについて	25人
11月25日(木)	離婚について	13人
12月23日(木)	ペットについて	9人
1月27日(木)	消費者問題について	11人
2月24日(木)	自転車と交通事故	11人
3月24日(木)	農地の売買・転用について	19人

### (9) 障がい者虐待防止研修会の実施

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)の趣旨を理解するとともに、障がい者に対する不適切な対応(支援)を防止するための支援方法や、虐待の未然防止のための取り組みについて理解を深め、障がい者への虐待防止と権利利益の擁護を図ることを目的に開催した。

実施日：1月27日(木)

内 容：説明「障がい者虐待防止に関する運営基準の見直しについて」

講演「みんなで防ごう！障がい者虐待」

講 師：岡山県備中県民局 健康福祉課 事業者第二班 原 裕康 氏

岡山県障害者権利擁護センター 運営委員 山崎 弘一 氏

対 象：市内の事業所(企業)及び障がい福祉サービス事業所、障がい者支援に関心のある方 等

参加者：会場 16人、録画視聴 34人

## 1 1. 生活困窮者支援事業

### (1) 生活困窮支援センターの設置運営

#### ① 自立相談支援事業

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行い、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・相談者数：569人
- ・延相談件数：12,025件

#### ② 就労準備支援事業

生活基礎能力、対人能力、社会適応能力等に課題を抱え、就労が困難な方に対し、一般就労に従事するための準備として、基礎能力を習得するための支援を計画的に実施する。

- ・プラン作成件数：1件

#### ③ 家計相談支援事業

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立て、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。(自立相談支援事業の相談者と重複)

- ・プラン作成件数：30件

#### ④ 家計相談会

将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・実施回数：年間6回
- ・相談者数：延7人

#### ⑤ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿(目標)や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等を支援計画としてまとめたものが課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、等について関係者間で協議する。また支援者や関係者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：12回
- ・プラン作成件数：40件
- ・終了件数：17件

### (2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路等の相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場等子どもたちの居場所としても機能した。

#### ① 学習支援(中高生版)

登録中学生数：13人(1年生：4人、2年生：1人、3年生：8人)

登録高校生数：7人（1年生：3人、2年生：1人、3年生：3人）

※生徒延参加者数：365名 平均参加者数（1回あたり）：8.9人

登録大学生：66人（岡山大学生：3人、県立大学生：45人（内地域創生演習5人）、川崎医療福祉大学18人）

※大学生延参加者数：166人 平均参加者数（1回あたり）：4.6人

一般ボランティア：4人（教員・塾講師・ワンステップのOB・OG）

※延参加者数：118人 平均参加者数（1回あたり）：2.9人

実施回数：41回（火曜日と金曜日に実施）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は金曜日のみ実施

## ② 学習支援（小学生版）

NPO 法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施

参加小学生数：10人（1年生：1人、2年生：2人、4年生：2人、5年生：3人、6年生：2人）

サポーター：14人

実施回数：36回

## ③ 意見交換会

開催日：3月18日（金）

会場：総社市総合福祉センター

参加者：岡山大学生、岡山県立大学生、一般ボランティア

内容：本事業の振り返りを行い、参加者それぞれから課題や意見の交換を行い次年度事業の実施に向けての改善点等検討した。

## ④ オープンキャンパスへの参加

新型コロナウイルス感染拡大のため、各校オープンキャンパスが中止となり、参加なし

## ⑤ 社会体験プログラム

開催日：12月11日（土）

行先：ライフパーク倉敷科学館

内容：科学館・プラネタリウムの見学を通じて自然史及び科学技術史の知識向上と参加者同士の親睦を図った。

参加者：生徒6人（中学生3人・高校生3人）

大学生6人（岡山県立大学）

## ⑥ 職業人の話を聞く会

開催日：3月11日（金）

会場：総社市総合福祉センター

内容：生徒が民間企業で活躍する職業人（サービス業）から、職業に就くまでの過程や仕事の魅力等の話を聞き、将来について考える機会を設ける。

講師：ネイルアーティスト 加藤 里紗 氏

参加者：生徒8人（中学生4人・高校生4人）

大学生2人（岡山大学）

### (3) 食糧支援に関する事業の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を凶るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープ等関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、2回のフードドライブを実施した。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

### (4) 子ども食堂との連携

子ども食堂との連携を通じ、困窮状態と思われる世帯の把握と支援のきっかけとなるべく、生活困窮支援センターの周知。また、子ども食堂への食糧提供、連絡会への参加をし、運営に関する支援を行った。

### (5) 生活困窮支援センター協議会の開催

#### ① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

- ・第1回協議会：4月26日（月）
  - 令和2年度事業報告について
  - 令和3年度事業計画について
  - 生活困窮支援センター協議会委員構成について
- ・第2回協議会：10月4日（月）
  - 総社市生活困窮支援センターの中間報告について
  - 課題別専門部会からの報告
  - 令和4年度事業計画について

#### ② 課題別専門部会の開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内に課題別専門部会を設置し協議した。

- ・学習支援・こども食堂等支援部会
  - 3回開催：9月21日（火）、11月25日（木）、3月10日（木）
  - 内容：ワンステップの実施状況について（小学生版・中高生版）
  - こども食堂の現状と課題について
  - アンケート調査（ワンステップ）について
- ・生活自立支援部会
  - 2回開催：9月27日（月）、3月18日（金）
  - 内容：食糧・住まいの支援状況、課題について
  - 生活自立に向けた支援の方策について
- ・就労支援部会
  - 2回開催：9月21日（火）、3月3日（木）
  - 内容：就労支援の現状と今後の課題について

就労体験先の開発、整理について  
就労準備支援事業について

#### (6) 一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施社会福祉法人：吉備路の会

受け入れ件数：2件

## 12. ひきこもり支援事業

### (1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置・運営

#### ① ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置運営

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

#### 【令和3年度相談実績】

- ・延相談件数 4,795件  
(訪問 614件、来所 1,965件、電話 1,898件、e-mail 318件)
- ・実相談者数 149人(うち、新規 50人)  
(男性109人：73.2%、女性39人：26.2%、不明1人：0.6%)
- ・社会参加実人数 13人  
(定期的居場所利用5人、地域活動支援センター利用1人、子ども食堂への参加1人、進学1人、就労1人、福祉的就労2人、内職1人、職業訓練校1人)

### (2) ひきこもり支援等検討委員会の開催

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進(支援者の養成、居場所の設置等)、予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つの専門部会(支援者養成部会・社会参加推進部会・就労支援部会)を設置している。

#### ・ひきこもり支援等検討委員会

開催日	内容
第1回 4月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>■報告事項<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度ひきこもり支援事業報告</li></ul></li><li>■協議事項<ul style="list-style-type: none"><li>・委員長の選任及び副委員長の指名について</li><li>・ひきこもりサポーター等養成イメージ(案)について</li><li>・令和3年度ひきこもり支援事業計画について</li><li>・部会員の選出</li></ul></li></ul>
第2回 10月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>■報告事項<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度ひきこもり支援事業中間報告について</li><li>・支援者養成部会について</li><li>・社会参加推進部会について</li><li>・就労支援部会について</li></ul></li><li>■協議事項<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度ひきこもり支援事業計画(案)について</li><li>・ひきこもり支援事業実施規程の一部改正について</li></ul></li></ul>

・ 支援者養成部会

開催日	内容
第1回 5月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告事項</li> <li>・ ひきこもりサポーター養成イメージについて</li> <li>・ ひきこもりサポーターほっともの会活動について</li> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 令和3年度ひきこもりサポーター養成講座（案）</li> <li>・ フォローアップ研修について</li> </ul>
第2回 9月29日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 令和3年度ひきこもりサポーターフォローアップ研修について</li> <li>・ ピアサポーター育成について</li> <li>・ ひきこもりサポーター養成講座受講対象者について</li> </ul>
第3回 3月14日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告事項</li> <li>・ 令和3年度ひきこもりサポーター養成講座について</li> <li>■ 協議事項</li> <li>・ ピアサポーター育成について</li> <li>・ 令和4年度ひきこもりサポーター養成講座について</li> </ul>

・ 社会参加推進部会

開催日	内容
第1回 9月22日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告事項</li> <li>・ 居場所活動報告について</li> <li>・ 社会参加状況について</li> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 社会参加の資源開発について</li> </ul>
第2回 3月8日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告事項</li> <li>・ 居場所活動報告について</li> <li>・ 社会参加状況について</li> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 居場所の活用・多様な形の社会参加について</li> </ul>

・ 就労支援部会

開催日	内容
第1回 9月21日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告事項</li> <li>・ 前回の振り返り</li> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 就労支援の現状と今後の課題</li> <li>・ 就労体験先の開発・整理について</li> </ul>
第2回 3月3日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協議事項</li> <li>・ 就労準備支援事業について</li> <li>・ 就労における課題について</li> </ul>

### (3) ひきこもりサポーター養成講座の実施

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

開催日	内容
第1回 9月25日(土)	<p>■講義 「ひきこもりの理解と支援～家族のつながり・地域のつながり～」 講師：岡山県立大学保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏</p> <p>■事業説明 「ひきこもり支援事業～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～」 発表者：総社市保健福祉部福祉課 課長補佐 林 輝昭 氏 「総社市ひきこもり支援センターワンタッチの取り組み」 発表者：総社市ひきこもり支援センター ひきこもり支援員 山口 光司</p>
第2回 10月2日(土)	<p>■講義 「ひきこもっている人の気持ち～本人・家族の思いから～」 講師：岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏</p> <p>■発表 「ひきこもり経験者の方から」 発表者：山村エンタープライズ(当事者)、 総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」</p> <p>■講義 「人を支援するうえで心がけること」 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学科 講師 直島 克樹 氏</p>
第3回 10月16日(土)	<p>■講義 「ひきこもりの理解と支援 居場所支援とピアサポート考えてみよう」 講師：NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏</p> <p>■発表 「ひきこもりサポーター“ほっとも”の活動内容発表」 発表者：ひきこもりサポーター「ほっとも」の会 会長 中倉 隆巨 氏 総社市ひきこもり支援センター ひきこもり支援員 原</p> <p>■グループワーク 「自分たちにはなにができるだろう」 コーディネーター：岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 周防 美智子 氏</p>

○参加者数：39人(うち新規参加者数：35人)

○登録者数

・延99人(内、本年度登録者12人)

性別	男	女
人数	22	77

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
人数	1	9	4	15	16	31	20	2	1

#### (4) ひきこもりサポーターフォローアップ研修の実施

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、具体的な支援事例の検討や、他のひきこもり支援機関の見学研修等を行った。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、隔月1回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

##### ・ひきこもりサポーターフォローアップ研修

開催日	内容	参加
第1回 12月20日(月)	■「当事者への関わり～家族の視点から～」 発表者：ほっとタッチの会 会長 坂本 英克 氏 ■グループワーク	21人
第2回 2月18日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

##### ・ひきこもりサポーター定例ミーティング

開催日	内容	参加
第1回 4月19日(月)	・総会 ・係活動について	21人
第2回 6月28日(月)	・係活動について ・ミニ研修会について ・フォローアップ研修について	18人
第3回 8月16日(月)	・「ほっとタッチぽえむ」見学会について ・係活動について	14人
第4回 10月22日(金)	・ハートフルそうじゃについて ・クリスマス会について	16人
第5回 11月26日(金)	・居場所当番について ・ハートフルそうじゃについて ・クリスマス会について	20人
第6回 3月23日(水)	・フォローアップ研修の報告 ・令和3年度振り返りについて ・多様な形の社会参加について	18人

#### (5) ピアサポーター育成の実施

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターとなることを目指すことを目的としている。育成については、本センターの実践を通じ、同時にその仕組みについては支援者養成部会において協議を継続する。

#### (6) 居場所「ほっとタッチ」「ほっとタッチぽえむ」の設置、運営

##### ・常設居場所

ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ホッと安心して過ごす、家族以外の人と関わる、仲間づくりをする、生活体験をする等、それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」という目的で、空き家を利用し、常設の居場所を設置運営する。

##### 【ほっとタッチ】

- ・月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）15：00～17：00で開所
- ・開所日数年間 207日

- ・延来所者数 730人  
(男性598人：81.9%、女性131人：18.0%、不明1人：0.1%)
  - ・実来所者数 22人(男性13人、女性8人、不明1人)
  - ・一日平均来所数 3.5人
- ※ ( ) は実人数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
人数	0	5 (2)	376(8)	300(7)	2 (2)	46 (2)	0	1 (1)

- ・ほっともイベント  
ほっともカフェ、クリスマス会、ほっとひと息タイムを開催
- ・個別活動  
畑作業、プラモデルづくり、軽作業を実施

#### 【ほっとタッチぼえむ】

- ・開所日数年間 38日
- ・延来所者数 67人 (男性28人：41.8%、女性39人：58.2%)
- ・実来所者数 4人(男性2人、女性2人)
- ・一日平均来所数 1.8人

※ ( ) は実人数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	0	0	20 (1)	1 (1)	46 (2)	0	0

- ・イベント  
お菓子づくりを実施

- ・夜間居場所「日陰の集い」(18:30~20:30)  
ひきこもり当事者のうち、暗くなってからでないと外出できない方や若年層が集える機会を設けるため、毎月最終金曜日と不定期に数回「日陰の集い」と称してNPO法人あかねに業務委託し開催した。参加者同士のコミュニケーションも図られ、参加者が主体となり活動をしている様子もみられている。

- ・場所 ほっとタッチ
- ・開催回数 14回
- ・延参加人数 67人(男性59人：8.1%、女性8人：11.9%)
- ・実参加人数 9人(男性7人、女性2人)
- ・1回平均参加人数 4.8人

※ ( ) は実人数

年代	10代	20代
人数	17 (4)	50 (5)

#### (7) ひきこもり家族会への支援

ひきこもり状態にある方の家族(両親・きょうだい・親戚)を対象とした、情報交換、研修機会等を行い、「ひきこもり家族会」が自主運営化されるよう支援した。

毎月、第3木曜日に居場所「ほっとタッチ」にて定例開催した。また、家族同士がお互いに励まし合えるような交流会や、ひきこもりについて勉強できるような研修会を開催した。

・ひきこもり家族会（会員数：正会員13家族（14人）賛助会員1人）

開催日	内容	参加
第1回 4月15日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会</li> <li>・家族会研修交流会の振り返り</li> <li>・茶話会</li> </ul>	9人
第2回 5月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	—
第3回 6月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	—
第4回 7月15日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュール・家族会名簿について</li> <li>・情報共有（ひきこもり経験者の社会参加の事例集）</li> <li>・茶話会</li> </ul>	10人
第5回 8月19日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会名簿について</li> <li>・ひきこもりサポーター養成講座について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	9人
第6回 9月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	—
第7回 10月21日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会交流研修会について</li> <li>・家族会新聞について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	10人
第8回 11月18日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会交流研修会について</li> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	8人
第9回 12月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会新聞について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	9人
第10回 1月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度スケジュールについて</li> <li>・家族会新聞について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	8人
第11回 2月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流研修会</li> <li>「家族の関わり方について考えよう」</li> <li>講師：水野 文一郎 氏</li> <li>（NPO法人岡山高等学院）</li> <li>当事者</li> </ul>	12人
第12回 3月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業計画（案）について</li> <li>・茶話会</li> </ul>	11人

・ひきこもり家族会の活動紹介等

開催日	内容
10月2日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回 ひきこもりサポーター養成講座</li> <li>坂本会長 発表</li> </ul>
12月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修</li> <li>「交流研修会」</li> </ul>

## (8) 周知啓発活動の実施

ひきこもり当事者やその家族をはじめ、広く一般市民、地域の関係者等へ「ひきこもり」への理解と、「ひきこもり支援センター」が行う「ひきこもり」の相談支援や社会参加支援等 について周知啓発を行った。

また、各地区民生委員児童委員協議会 5 月の定例会に担当職員が出席。ひきこもり等地域住民の見守り支援の中心として活躍され、市内のひきこもり実態調査に協力をいただいた民生委員・児童委員を対象に、本センターの相談支援状況の報告と意見交換を実施した。ひきこもり支援センターの相談状況を理解いただくことで、今後の地域における見守り意識の向上とセンターへの相談の促進を図った。

- ・啓発方法：市広報誌、社協だより、チラシ、ホームページ、Facebook
- ・若者向けチラシの配布
- ・カード型リーフレットの配布（市内コンビニ等）
- ・「ひきこもり支援・総社のあゆみ～行政と社協の協働体制 2021」版作成に向け編集委員会を立ち上げた。2回の編集委員会を通じて、既存の物に追加・編集・再構成を行い、11月に発行。

### 13. 在宅福祉サービス事業

#### (1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
  - ・利用者数 延1,933人（月平均161人）
  - ・介護支援専門員 6人
  - ・要介護認定調査 延13人（月平均1人）
- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
  - ・利用者数 延695人（月平均57人）
  - ・ホームヘルパー（常勤6人・嘱託1人・登録30人）
  - ・援助内容 身体介護、生活援助
- ③ 介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパー派遣）
  - ・利用者数 延638人（月平均53人）
  - ・ホームヘルパー（常勤6人・嘱託1人・登録30人）
  - ・援助内容 身体介護、生活援助

#### (2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
  - ・利用者数 延856人（月平均71人）
  - ・相談支援専門員5人
- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
  - ・利用者数 延545人（月平均45人）
- ③ 障害支援区分認定調査の実施
  - ・利用者数 延144人（月平均12人）
- ④ 居宅介護事業の実ホームヘルパー派遣）
  - ・利用者数 延648人（月平均54人）
  - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等
- ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施（ホームヘルパー派遣）
  - ・利用者数 7人

#### (3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）45件

#### 14. 福祉センター等管理運営事業

##### (1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	R3	R2	R1	H30	H29
利用回数	1,265回	1,341回	1,321回	922回	1,303回
利用者数	22,259人	29,150人	39,531人	46,477人	43,623人

##### (2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

###### ・ やすらぎの家

	R3	R2	R1	H30	H29
利用回数	141回	155回	245回	227回	235回
利用者数	2,080人	2,601人	4,211人	3,977人	4,913人

###### ・ さんあいの家

	R3	R2	R1	H30	H29
利用回数	448回	505回	614回	503回	466回
利用者数	4,090人	4,812人	6,885人	5,613人	6,178人

###### ・ ひだまりの家

	R3	R2	R1	H30	H29
利用回数	280回	293回	290回	263回	323回
利用者数	3,838人	4,267人	6,199人	6,434人	6,825人

###### ・ 山手ふれあいセンター

	R3	R2	R1	H30	H29
利用回数	249回	218回	412回	494回	466回
利用者数	2,156人	2,087人	4,081人	6,477人	7,276人

## 15. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

### (1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 9,502,283円 (R2 9,632,896円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	1,914,070円		204,000円	63,401円	1,739円
常盤	1,199,850円		87,800円	36,584円	14,530円
池田	210,900円		36,000	5,514円	51円
清音	857,150円		70,000円	15,217円	5,983円
三須	371,800円		15,000円	3,588円	7,595円
服部	344,900円		75,000円	16,372円	
阿曾	420,580円		22,000円	9,274円	4,168円
山手	737,795円		71,000円	18,026円	8,326円
秦	328,550円		16,000円	19,570円	2,052円
神在	249,150円		36,000円	4,247円	
久代	369,840円			13,064円	1,735円
山田	123,100円			763円	
新本	221,550円		10,000円	6,438円	
昭和	580,127円			590円	1,953円
事務局		13,144円	3,000円		15,594円
計	7,929,362円	13,144円	645,800円	212,648円	63,726円

地区	職域募金	個人・バッチ	合計
総社		73,200円	2,256,410円
常盤		23,200円	1,361,964円
池田		8,200円	260,665円
清音	6,800円	42,400円	997,550円
三須		1,200円	399,183円
服部		24,800円	461,072円
阿曾		4,000円	460,022円
山手		44,000円	879,147円
秦		23,600円	389,772円
神在		6,000円	295,397円
久代		5,600円	390,239円
山田		800円	124,663円
新本		6,000円	243,988円
昭和	400円	800円	583,870円
事務局	292,871円	73,732円	398,341円
計	300,071円	337,532円	9,502,283円

② 歳末たすけあい募金

・募金実績額 100,000円

## (2) 共同募金事業の実施

### ① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするポスター作品を募集しました。

75作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞11点が選ばれました。

運動がスタートした10月1日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

### ② 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の推進

令和3年度より公募方式による共同募金からの助成の「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」（90万円）について、引き続き積極的に取り組んだ。

#### 「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」

団体	事業名	事業概要
常盤 地区社協	防災・減殺に向けた取り組み（防災訓練）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施（避難、起震車体験、炊き出し等）</li> <li>・訓練を通じて、一人ひとりの防災意識を高めることで有事の対応や日頃の備える意識につながる。</li> <li>・防災活動は、地域づくりであることを共有する。</li> </ul>
池田 地区社協	池田小学校児童と見守り対象者とのふれあい福祉学習及びコロナウイルス感染拡大による見守り活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom等を活用した交流（池田公民館と池田小学校）</li> <li>「もみじサロンの参加者と児童との交流」</li> <li>コロナ禍でもできるふれあい交流としてオンラインによる交流を行う（朗読会や歌唱のプレゼント）</li> <li>・コロナ禍での見守り活動（停滞させない実践）</li> </ul>
清音 地区社協	清音いきいき健康福祉まつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉作文・ポスターコンクール表彰式を実施</li> <li>・コロナ禍で頑張っている子どもたちを応援する。</li> </ul>
服部 地区社協	地区社協・服部幼稚園児・岡山県立大学 タッグを組んでみんなで見守り Go!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80歳以上高齢者を訪問（毎月1回）し、情報チラシや服部幼稚園児が描いた絵を持参した。</li> <li>・岡山県立大学地域創生演習の受入も行き、3者でタッグを組んだ見守り活動を実施。</li> </ul>
神在 地区社協	生活支援活動 「神在流 移動手段の仕組みづくり」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活課題「移動」について検討を進めた。</li> <li>「先進地視察」・・・鴨方町 みどりが丘団地</li> <li>・アンケートによる実態調査を実施（70歳以上 416人に配布/396人回収）</li> </ul>
新本 地区社協	西の吉備路探訪 みんなで散歩会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の世代間交流の場（ふれあい交流）</li> <li>・健康増進を目的としたウォーキング</li> <li>・地域の歴史を再発見する中で、「郷土愛」を深める。</li> <li>・地域の危険個所を把握する。</li> </ul>
昭和 地区社協	昭和地区子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の宝である「子どもたち」の元気と笑顔とともに地域のつながりを深める企画を実施。</li> </ul> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「福祉学習（計4回講座）」から地域の支え合いを学ぶ</li> <li>② 「お楽しみ会」や「クリスマス会」を子どもたちが企画運営で地域住民と交流</li> <li>③ 「昭和中学校との合同避難訓練」</li> </ol>

団体	事業名	事業概要
山田プロジェクト実行委員会	山田ふれあい市で三世交代交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での世代を超えたつながりづくり（交流の場）を企画した「山田ふれあい市」</li> <li>昔遊びの伝承による交流（高齢者と子どもたちのふれあい）</li> </ul>
山田べんりーな	山田べんりーな事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>山田地区内の70歳以上独居及び高齢者世帯の困りごと（草刈り、剪定、粗大ごみ処分、墓掃除等）に対する生活支援を実施（R3は、約180件の依頼を請け負った）</li> </ul>
地域食堂 Dining Minna	地域食堂 Dining Minna & 竹あかり制作ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「特製カレーと竹あかりづくりを実施」</li> <li>世代を超えた地域住民が集うことで、地域のつながりを高めるきっかけとなった。</li> <li>地域に根付く「地域食堂」への第一歩となった。</li> </ul>
今年も頑張っているよ！美袋実行委員会	7/6 愛・絆 美袋3年祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>イルミネーション点灯式と地域交流事業（花火打ち上げや吹奏楽演奏の発表等）</li> <li>災害からの復興に向け、地域住民が一致団結できる交流の場となった。</li> </ul>
あそびのきち おひさま	おひさま 子どもお助け隊事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域のために子どもたちができる地域貢献事業」</li> <li>昭和地区で買い物に困っている方のお手伝い</li> <li>週2回の見守り活動（お弁当を届けて声かけ）</li> <li>地域の資源回収のお手伝い</li> </ul>

### （3）歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- 在宅で寝たきりの方（58人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

## 16. 赤十字事業

### （1）日赤活動資金増強運動の推進

- 会員増強運動月間（5月）

（令和3年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	2,872 件	2,270,900 円
常盤	1,328 件	1,227,000 円
池田	331 件	292,000 円
清音	1,039 件	925,500 円
三須	509 件	621,500 円
服部	560 件	535,000 円
阿曾	488 件	441,500 円
山手	481 件	555,000 円
秦	450 件	389,500 円
神在	406 件	325,500 円
久代	682 件	528,738 円

地区名	会員数	実績額
山田	199 件	181,500 円
新本	394 件	329,500 円
昭和	781 件	675,000 円
事務局	2 件	2,000 円
計	10,522 件	9,300,138 円

※ 県支部指示目標額7,013,000円に対して、  
 実績額9,300,138円（132.6%）  
 R2実績額 9,509,730円（▲209,592円）

## （2）災害救援事業の実施

- 災害被災者の救護
  - ・実施なし

## （3）赤十字事業普及のための広報活動

- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

## 17. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

《令和3年7月大雨災害義援金》 7,276円

《ウクライナ人道危機救援金》 42,998円

※以上の義援金・救援金は本地区を通じて、岡山県支部へ送金

## 18. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

- ① 社会福祉援助技術現場実習の受け入れ
  - ・岡山県立大学 3人
  - ・川崎医療福祉大学 2人
- ② 社会福祉士養成校での講義等
  - ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ）

## 19. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	パソナグループ	4月30日（金）
2	NPO 法人 color	7月19日（月）
3	伊賀市社会福祉協議会	9月1日（水）
4	府中市社会福祉協議会	9月13日（月）
5	福知山市	9月17日（金）
6	笠岡市生活福祉課	10月29日（金）
7	みよしはたらく協議会	11月12日（金）
8	茅野市議会議員	12月2日（木）

## 20. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

(外部委員等への就任状況)

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県共同募金会 理事	風早会長
9	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	佐野事務局長
10	総社市要保護児童対策地域協議会 副会長	佐野事務局長
11	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
12	岡山県地域公益活動推進協議会 委員	佐野事務局長
13	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 常任委員 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会 福祉サービスの質の向上推進委員会	佐野事務局長
14	総社市営住宅入居者選考委員会	吉岡次長
15	地域学校協働活動推進協議会（総社高校）委員	吉岡次長
16	総社市自殺対策連絡協議会 委員長	山田課長

### 21. 人材育成基本方針（案）の検討

- ・社協職員として求められる人材像や資質向上を図るために、研修体系の見直しや人材育成の仕組みづくりを検討する。【令和4年度策定予定】

### 22. 重層的支援体制整備移行準備事業

「断らない相談支援」「社会とのつながりや参加の支援」「地域やコミュニティにおける支え合う関係性の育成支援」を構築するための研究及び検討事業を実施。

- ① 市保健福祉部との協議 8回
- ② 重層的支援体制整備事業研修会 2回  
テーマ：「地域共生社会実現に向けた我が国の動向と重層的支援体制準備事業の理解」  
講師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表 土屋 幸巳 氏
- ③ 包括的相談支援体制、多機関協働事業の検討
  - ・相談支援機関の連携状況に関するアンケート調査の実施 回答数：113
  - ・重層的支援コーディネーター（権利擁護センター兼務）による、複合的課題のあるケースへの対応 13世帯（延べ相談件数：988件）
- ④ 制度の狭間にある方々の社会参加支援の検討